

# 資料

第32軍司令部壕保存・公開ロードマップ【令和5年3月時点】

実施項目	短期				令和8年度	中期～長期 (令和9年度以降)
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
1 有識者委員会	基本方針	設置	適宜設置			
2 基本方針・基本計画の策定	基本方針	基本計画	基本計画に基づいた対応			
3 調査・保存・公開						
(1)第5坑口(坑口周辺含む)(優先事項)	測量 試掘調査		考古学的調査・文化財指定に係る検討 整備・公開			
(2)第1坑口(坑口周辺含む)(優先事項)			考古学的調査・文化財指定に係る検討 整備・公開			
(3)未発掘区間(第1坑道)(優先事項)		状態確認調査・保全対策検討	安全対策・保全対策・試掘調査			考古学的調査・文化財指定に係る検討
(4)発掘区間(第2・3・5坑道)	状態確認調査・ 安全性検討 変位等モニタリング	適宜実施	考古学的調査・文化財指定に係る検討 基本計画に基づいた対応			
(5)保全対象水源・地下水排除時の影響評価	デジタル技術を活用した 公開の準備期間	デジタル技術を活用した公開				
(6)未発掘区間(第2・3・4坑口、第4坑道、シャフト)	地下水調査・影響検討 地下水モニタリング	適宜実施	基本計画に基づいた対応			
4 平和発信・継承						
(1)文献資料等を活用した平和発信・継承	既存資料整理・調査手法の検討 権利関係の整理・地表の状況把握・調査等		基本計画に基づいた対応			
(2)平和教育・学習への利活用(展示・平和交流等)	証言・文献資料等収集・編さんワーキング グループによる検討等(周知啓発資料等の 作成等)		基本計画に基づいた対応			
(3)広報・PR活動	利活用方法の検討、関係機関との調整等		基本計画に基づいた対応			
	専用ホームページによる取組等の発信					

## 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会設置要綱

(設 置)

**第1条** 第32軍司令部壕の保存・継承及び公開に向けて、その取組に必要な課題及び施策の方向性について、有識者から意見を聴取するため、第32軍司令部壕保存・公開検討委員会（以下、「検討委員会」という。）を設置する。

(役 割)

**第2条** 検討委員会は、沖縄戦において第32軍司令部壕が果たした役割等の歴史的価値を次世代に継承するため、壕の保存・公開の可能性及び平和発信・継承のあり方等について、調査及び検討を行い、意見を取りまとめ知事へ提言する。

(組 織)

**第3条** 検討委員会は、別表1に掲げる分野の委員10人で構成し、委員は、次に掲げる者のうちから知事が依頼する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体から推薦のあった者
- (3) その他知事が必要と認める者

2 委員の任期は、依頼した日から令和4年3月31日までとする。ただし、期間の終期までに知事への提言がなされない場合は、延長することができる。

3 委員が欠けた場合、知事は後任の者を依頼することができる。この場合における後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び委員長代理)

**第4条** 検討委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

3 検討委員会に委員長代理を置き、委員のうちから委員長が指名する。

4 委員長代理は、委員長を補佐し、委員長に事故がある時は、その職務を代理する。

(会 議)

**第5条** 検討委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 検討委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴き、又は説明若しくは資料等の提出を求めることができる。

(検討グループ)

**第6条** 検討委員会を円滑かつ効果的に開催するため、検討委員会の下に第32軍保存・公開検討委員会検討グループ（以下「検討グループ」という。）を置く。

2 検討グループの設置、運営に関し必要な事項は別に定める。

(事務局)

**第7条** 検討委員会に事務局を置く。

2 事務局は、別表2に掲げる横断的組織とする。

(庶務)

**第8条** 検討委員会の庶務は、沖縄県子ども生活福祉部女性力・平和推進課において処理する。

(補則)

**第9条** この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関する事項その他必要な事項は、別に定める。

**附則**

この要綱は、令和2年11月18日から施行する。

**附則**

この要綱は、令和2年12月11日から施行する。

**附則**

この要綱は、令和3年6月7日から施行する。

**附則**

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

**附則**

この要綱は、令和4年8月5日から施行する。

**別表1 (第3条関係)**

	分野
1	法律
2	経済／観光
3	沖縄戦研究
4	戦跡文化財
5	地質学
6	地盤工学
7	トンネル工学
8	地域振興
9	平和教育
10	情報技術

別表 2 (第 7 条関係)

	組織名称	所掌事務
1	沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課	平和の発信、沖縄戦の実相の継承等に関する事。こと。
2	沖縄県知事公室 特命推進課	技術的調査、財源確保等に関する事。こと。
3	沖縄県子ども生活福祉部 保護・援護課	遺骨収集等に関する事。こと。
4	沖縄県土木建築部 都市公園課	首里城公園管理等に関する事。こと。
5	沖縄県教育庁文化財課	文化財、戦争遺跡、沖縄県史、沖縄戦研究等に関する事。こと。
6	沖縄県教育庁 県立学校教育課	平和教育等に関する事。こと。
7	那 覇 市	地域振興、まちづくり、文化財等に関する事。こと。
8	技術支援業務受託者	壕の保存・管理、地質、地盤、地下水、物性値 その他壕内環境に関する事。こと。

## 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会検討グループ設置要綱

(目的)

**第1条** 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会（以下「検討委員会」という。）を円滑かつ効果的に開催するため第32軍司令部保存・公開検討委員会設置要綱（以下「検討委員会設置要綱」という。）第6条第2項の規定に基づき、第32軍司令部壕保存・公開検討委員会検討グループ（以下「検討グループ」という。）の設置、運営に関し必要な事項を定める。

(事務及び組織)

**第2条** 検討グループには、技術検討グループ及び平和発信・継承検討グループを置く。  
2 検討グループは、検討委員会設置要綱第2条に定める知事への提言に向け、保存・公開の可能性及び平和発信・継承のあり等について調査及び検討を行い、その結果を検討委員会に報告する。  
3 検討グループの分掌事務は、別表の中央欄のとおりとし、構成員は同表の右欄とする。

(招集)

**第3条** 検討グループの招集は、検討委員会委員長が行う。

(会議の運営・進行)

**第4条** 会議の運営・進行は、原則として事務局が行う。ただし、必要に応じ、検討委員会委員長が進行するものを指名することができる。

(庶務)

**第5条** 検討グループの庶務は、女性力・平和推進課において処理する。

(補則)

**第6条** この要綱に定めるもののほか、技術検討グループ及び平和発信・継承検討グループの運営に関する事項その他必要な事項は、別に定める。

**附 則**

この要綱は、令和4年8月5日から施行する。

別表

名称	分掌事務	構成員
技術検討グループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保存・公開に向けた調査（技術面）に係る検討・助言に関する事</li> <li>2 保存・公開可能性（技術面）に係る検討・助言</li> <li>3 検討委員会への報告に関する事</li> <li>4 その他保存・公開に向けた必要な検討・助言</li> </ol>	下記に掲げる分野の検討委員会委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネル工学</li> <li>・地質学</li> <li>・地盤工学</li> </ul>
平和発信・継承検討グループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保存・公開可能性（平和発信・継承のあり方）に係る検討・助言に関する事</li> <li>2 検討委員会への報告に関する事</li> <li>3 その他保存・公開に向けた必要な検討・助言</li> </ol>	下記に掲げる分野の検討委員会委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律</li> <li>・経済／観光</li> <li>・沖縄戦研究</li> <li>・戦跡文化財</li> <li>・地域振興</li> <li>・平和教育</li> <li>・情報技術</li> </ul>

## 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 委員名簿

NO.	分野	氏名	肩書
1	法律	タマキ 辰彦 玉城 辰彦	ていだ法律事務所 弁護士
2	経済／観光	シモジ 貴子 下地 貴子	(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 受入事業部長
3	沖縄戦研究	ヨシハマ 忍 吉浜 忍	沖縄県史編集委員会 委員長
4	戦跡文化財	オオシロ 和喜 大城 和喜	元南風原文化センター 館長
5	応用地質学	ササキ 靖人 佐々木 靖人	国立研究開発法人土木研究所 理事
6	地盤工学	イトウ 孝 伊東 孝	国立大学法人琉球大学工学部 教授
7	トンネル工学	コイズミ 淳 小泉 淳	早稲田大学 名誉教授
8	地域振興	ミヤラ 吉雄 宮良 吉雄	首里自治会長連絡協議会 会長
9	平和教育	ナカドマリ 和枝 仲泊 和枝	(特非) 沖縄平和協力センター 理事長
10	情報技術	ナガイ 義人 永井 義人	(一財) 沖縄ITイノベーション戦略センター 専務理事



## 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 委員名簿

NO.	分野	グループ	氏名	肩書
1	法律	平和発信・継承	タマキ タツヒコ 玉城 辰彦	ていだ法律事務所 弁護士
2	経済／観光	平和発信・継承	シモジ タカコ 下地 貴子	(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部受入推進課アドバイザー
3	沖縄戦研究	平和発信・継承	ヨシハマ シノブ 吉浜 忍	沖縄県史編集委員会 委員長
4	戦跡文化財	平和発信・継承	オオシロ カズキ 大城 和喜	元南風原文化センター 館長
5	応用地質学	技術検討	ササキ ヤスヒト 佐々木 靖人	国立研究開発法人土木研究所 理事
6	地盤工学	技術検討	イトウ タカシ 伊東 孝	国立大学法人琉球大学工学部 教授
7	トンネル工学	技術検討	コイズミ アツシ 小泉 淳	早稲田大学 名誉教授
8	地域振興	平和発信・継承	ミヤラ ヨシオ 宮良 吉雄	首里自治会長連絡協議会桃原町自治会長
9	平和教育	平和発信・継承	ナカドマリ カズエ 仲泊 和枝	(特非) 沖縄平和協力センター 理事長
10	情報技術	平和発信・継承	ヤマダ カズセイ 山田 一誠	(一財) 沖縄ITイノベーション戦略センター 専務理事

## 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会開催状況

- 第1回検討委員会会合 <令和3年1月22日(金)>
  - 1 検討委員会の目的及び組織について
  - 2 県民の声(これまでの要請等)や文献調査の概要説明
  - 3 第32軍司令部壕事業・これまでの経緯
  - 4 それぞれの専門分野から見た壕の感想
  
- 第2回検討委員会会合 <令和3年3月29日(月)>
  - 1 文化財指定について
  
- 第3回検討委員会会合 <令和3年7月20日(火)>
  - 1 類似施設視察報告
  - 2 調査に向けた検討事項について
  
- 第4回検討委員会会合 <令和3年12月27日(月)>
  - 1 文献調査及び基礎調査の中間報告
  - 2 保存・公開に向けた今後の取組について
  - 3 詳細調査方針について
  
- 第5回検討委員会会合 <令和4年3月28日(月)>
  - 1 文献調査及び基礎調査の最終報告
  - 2 保存・公開に向けた今後の取組について
  - 3 詳細調査方針について
  
- 第1回平和発信・継承検討グループ会合 <令和4年9月12日(月)>
  - 1 令和4年度の取組等について
  - 2 保存・公開に向けた提言の策定について
  
- 第1回技術検討グループ会合 <令和4年9月20日(火)>
  - 1 令和4年度の取組等について
  - 2 保存・公開に向けた提言の策定について
  - 3 保存・公開に向けた調査実施の優先度について
  
- 第6回検討委員会会合 <令和4年11月21日(月)>
  - 1 令和4年度の取組等に係る進捗状況等について
  - 2 保存・公開に向けた提言の策定について
  
- 第2回平和発信・継承検討グループ会合 <令和5年1月27日(金)>
  - 1 令和4年度の取組等に係る進捗状況等について
  - 2 保存・公開に向けた提言の策定について
  
- 第2回技術検討グループ会合 <令和5年2月3日(金)>
  - 1 令和4年度の取組等に係る進捗状況等について
  - 2 詳細調査の中間報告について
  - 3 保存・公開に向けた提言の策定について
  - 4 事業費概算のための条件整理について
  
- 第7回検討委員会会合 <令和5年2月10日(金)>
  - 1 各検討グループにおける主な意見について
  - 2 詳細調査の中間報告について
  - 3 保存・公開に向けた提言の策定について



